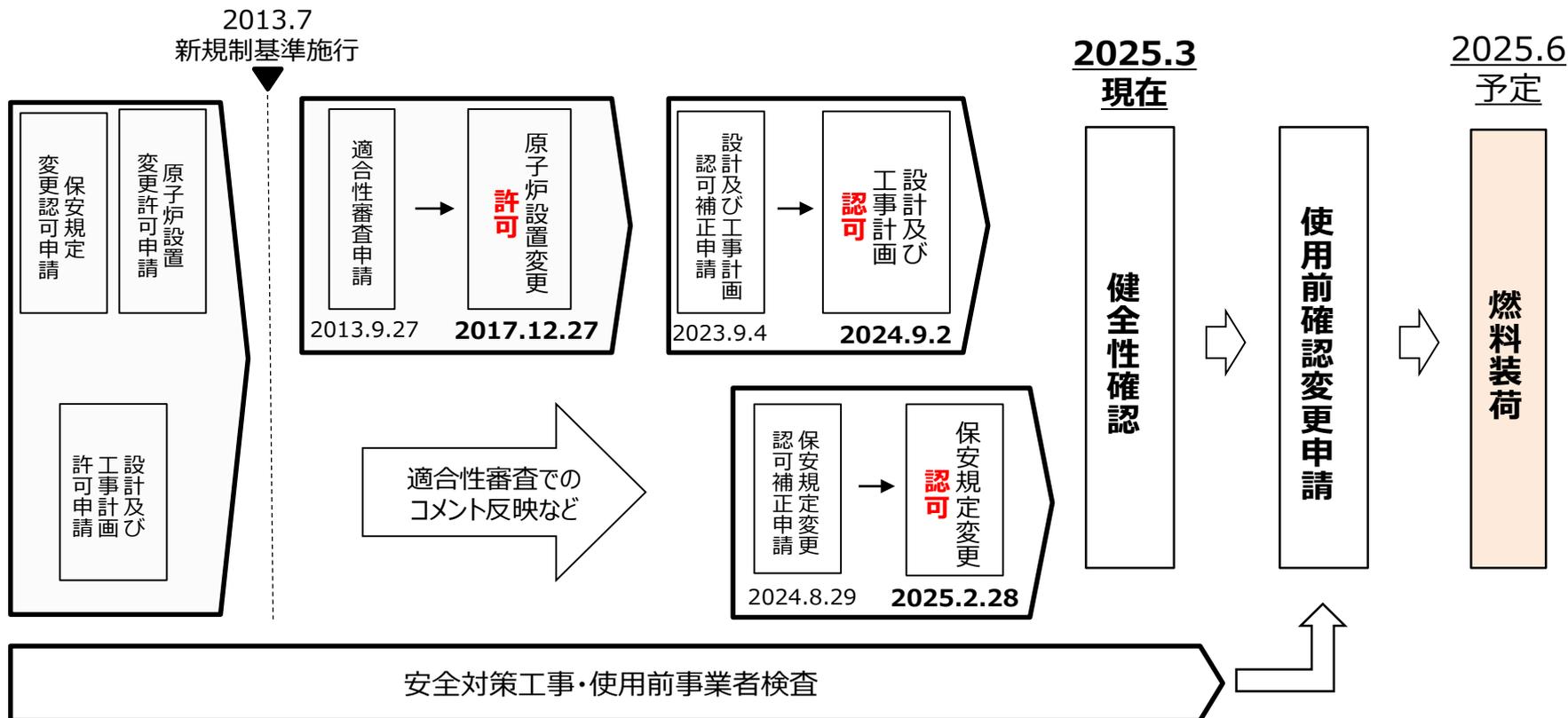


# 6号機の進捗状況について

- 2013年7月に新規規制基準が施行され、2013年9月に適合性審査を申請
- 2017年12月に原子炉設置変更許可、2024年9月に設計及び工事計画認可、2025年2月に保安規定変更認可
- 安全対策工事は、約8割実施済（使用前事業者検査は、約5割実施済）
- 2025年3月10日までにタービン系の主要設備の健全性確認を実施。今後、原子炉系の主要設備の健全性確認を実施
- 安全最優先で、何かあれば一つひとつ確認のもと、安全対策工事と、それに伴う使用前事業者検査や健全性確認を進めてまいる



# 6号機 主要な安全対策工事の進捗状況について

ガスタービン発電機



万一の全交流電源喪失時にも重要機器の動力を確保

静的触媒式水素再結合装置 (PAR)



触媒の働きで、原子炉建屋に滞留した水素と酸素を水蒸気に変え、水素濃度の上昇を抑制

取水槽閉止板



海水ポンプ点検用の開口部から、津波が建屋内に浸水することを防止

原子炉建屋内緊急時対策所



重大事故等が6、7号機で発生した場合、所員が参集し、事故収束に向けた指揮命令等を実施

水密扉等の浸水防護対策



重要設備が設置されている部屋に、設備の破損で漏えいした水等の流入を防止

中央制御室待避室



炉心損傷が発生後、格納容器の圧力逃し操作を実施した際の、運転員の被ばくを低減させるための待避場所として使用

火山灰フィルタ



火山噴火による降灰時、非常用ディーゼル発電機が火山灰で目詰まりしないよう、給気口にフィルタを設置

コリウムシールド



耐熱性の高い堰を設置し、溶融燃料によって、鋼製の原子炉格納容器境界板が損傷することを防止

フィルタバント設備 (地上式)



万一バントを行う際でも、大量の放射性物質の放出を防止

使用済燃料プールに注水するための外部接続口



重大事故発生時に外部から使用済燃料プールに注水ができるよう、消防車を接続

大物搬入建屋

建物を解体撤去し、耐震性の高い建物に建て替え

燃料取替機



耐震強化工事を実施

ブローアウトパネル閉止装置



主蒸気管破断などによりブローアウトパネルが開放した際、原子炉建屋内の圧力減少後に速やかに開いた隙間を閉止

高圧代替注水系 (HPAC)



原子炉隔離時冷却系 (RCIC) のバックアップとして、原子炉へ注水

電巻防護ネット (複数箇所)



建屋の開口部に設置し、電巻により飛来した物の侵入を防止

- : 工事实施中
- : 工事实施済

※工事实施済であっても、使用前事業者検査実施後に機能維持のための保全作業等が生じる場合あり

※工事については、使用前事業者検査を行い、原子力規制庁より使用前確認をもって完了

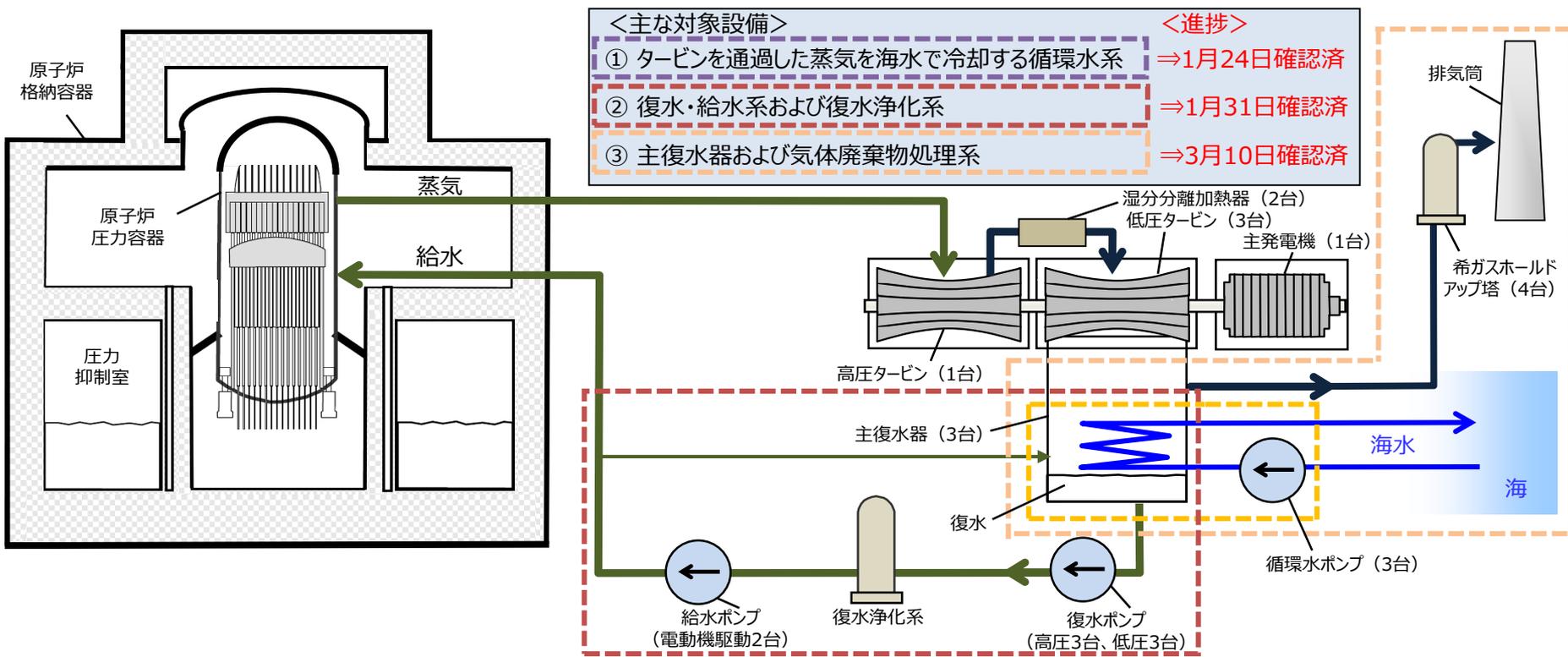
- ・貫通部対策 (火災防護・浸水防護)
- ・火災防護対策

※ 写真は一部7号機設備のものを使用

# 6号機 タービン系主要設備の健全性確認について

➤ 主復水器および気体廃棄物処理系（③）については3月10日までに機能を確認済

## 全体概要図



# 6号機 原子炉系主要設備の健全性確認について

➤ 7号機同様6号機についても、今後、主要な原子炉系設備（下図①～③）の健全性確認を実施

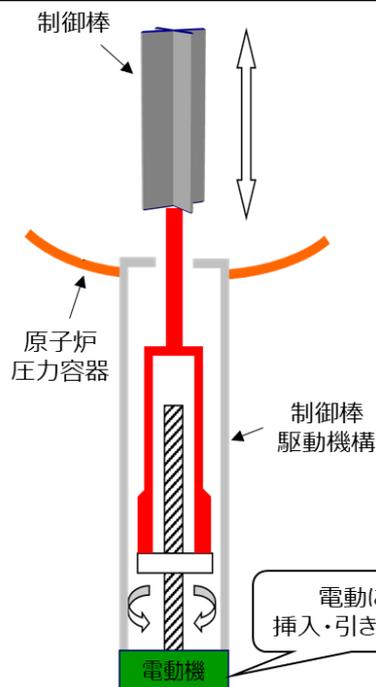
## 【設備概要】

- ①主蒸気逃がし安全弁：主蒸気隔離弁が閉まった際に、原子炉の蒸気を圧力抑制プールに逃がし原子炉圧力を低下させることで、低圧注水を行えるようにするための弁
- ②主蒸気隔離弁：万が一の事故時に、放射性物質を含む蒸気等が原子炉格納容器の外側に流れないようにするための弁
- ③制御棒駆動機構：原子炉の起動時、停止時、出力制御時に制御棒を動かす設備

### ③制御棒駆動機構

#### 【確認内容】

205本の制御棒について1本ずつ電動による挿入・引き抜き操作を行い、全ての制御棒駆動機構が正しく動作することを確認



### ①主蒸気逃がし安全弁

#### 【確認内容】

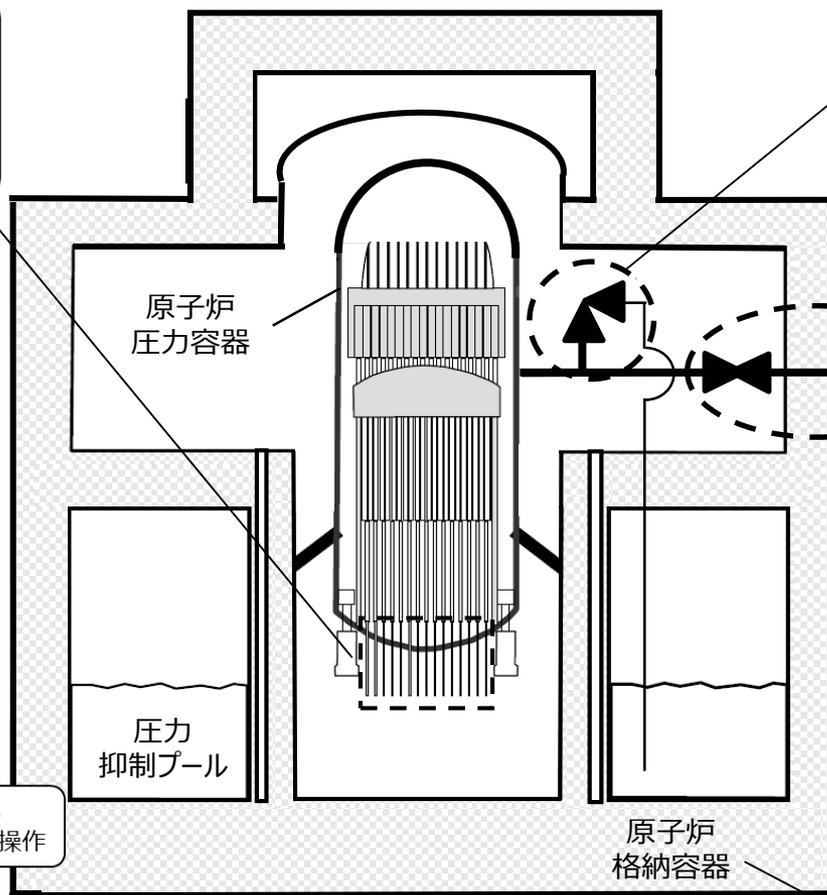
主蒸気逃がし安全弁の動作確認



### ②主蒸気隔離弁

#### 【確認内容】

主蒸気隔離弁の開閉動作の確認、圧縮空気を流すことで漏えいが無いことを確認



# 1. 衛星通信設備に関する不具合の調査状況について

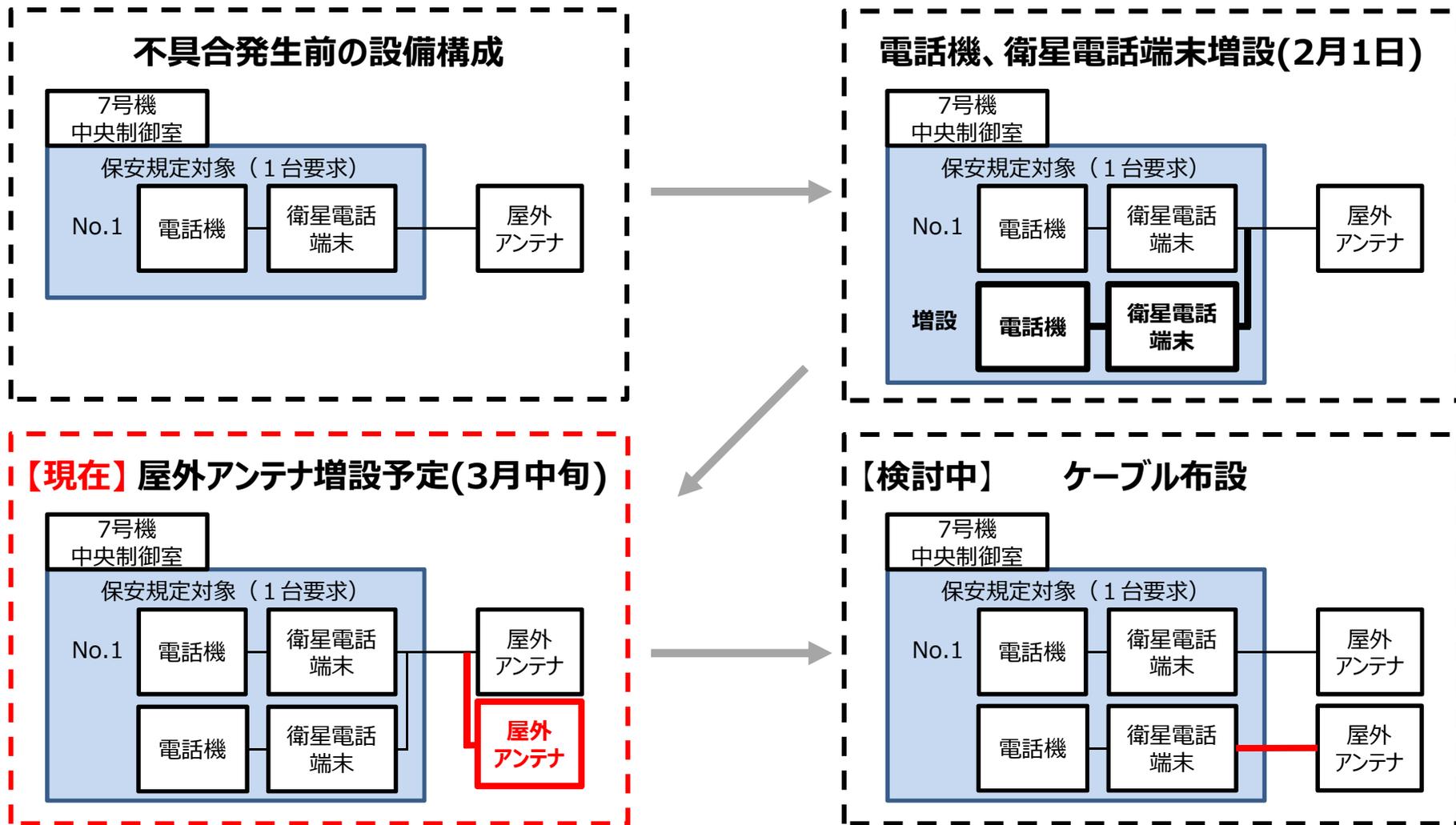
2025年3月13日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

➤ 追加で確認された事項は以下の通り(下線箇所)

発生日	設置場所	不具合機器	調査状況
2024/11/21	緊急時 対策所	衛星電話端末No.1 屋外アンテナNo.1	・ <u>端末は再現性なし</u> ・ <u>屋外アンテナの送信機能に関わる電子部品に不具合を確認</u> (調査継続中)
2025/1/14		衛星電話端末No.2	・ <u>再現性なし</u>
2025/1/27		屋外アンテナNo.5	・ <u>屋外アンテナの受信機能の不具合を確認</u> (調査継続中)
2025/1/31	7号機 中央制御室	コネクタ	・コネクタは当社研究所にて調査中 ※ <u>屋外アンテナには異常なしを確認</u>

## 2. 7号機中央制御室の対策状況

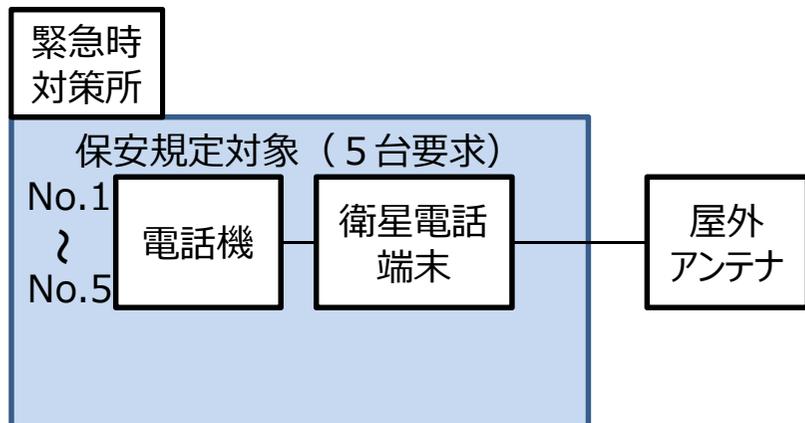
- これまでの不具合を踏まえ、7号機中央制御室は電話機および衛星電話端末を1台増設
- 3月中旬に7号機中央制御室の屋外アンテナを1台増設予定
- 現在、ケーブルを布設し増設した端末と屋外アンテナの2系列化を検討中



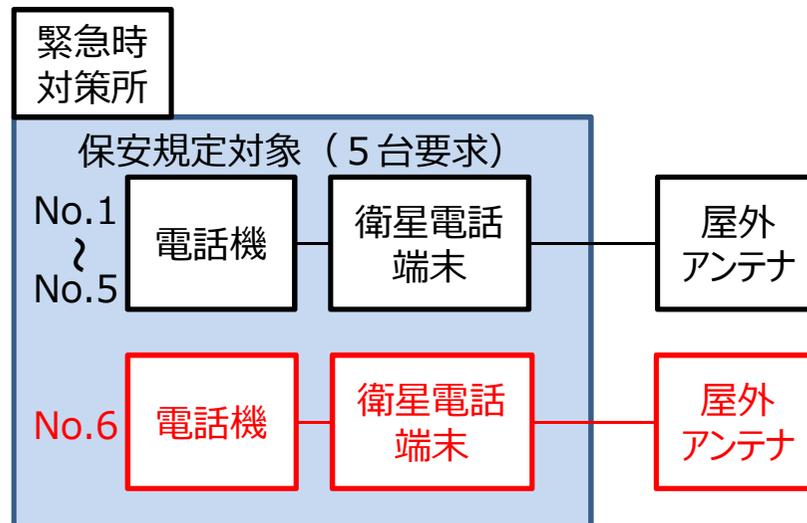
# 緊急時対策所の対策状況 ※2月13日記者説明会資料抜粋

➤ これまでの不具合を踏まえ、緊急時対策所は1セット増設済（電話機～アンテナ）

## 設備見直し前



## 設備見直し後



# プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月14日		
号機	6	件名	原子炉建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
<p>①</p> <p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2025年2月13日午後5時ごろ、6号機原子炉建屋2階（管理区域）で弁の検査準備作業に従事していた協力企業作業員が、階段歩行中に躓き、左脛をぶつけました。</li><li>・作業中は、けがに気付いておらず、帰宅した後に左脛に傷と出血を確認したことから、医療機関を受診しました。</li><li>・なお、本人に身体汚染はありません。</li></ul> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病院で診察の結果、「左下腿挫創」と診断されました。</li><li>・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</li></ul> <p>(2025年2月14日にお知らせ済み)</p>			

# プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月21日		
号機	6	件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年2月20日午後0時27分頃、6号機タービン建屋 中地下2階原子炉給水ポンプ駆動用蒸気タービン（B）油タンク室において、潤滑油フィルター※1切替弁※2から潤滑油の漏えい（約4リットル）を確認いたしました。</li> <li>その後、午後0時37分に消防署へ連絡し、現場を確認していただいた結果、午後1時50分に危険物の漏えいと判断されました。</li> <li>漏えいした潤滑油については拭き取りを実施し、現在も微少な漏えいが継続しているため、油を受けるためのオイルパンを設置し拡大防止措置を実施しております。</li> <li>なお、漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。</li> </ul> <p>※1 タービン及びポンプの軸受へ綺麗な潤滑油を供給するために不純物を捕集するもの          ※2 フィルターは2台あり、1台が不純物等により詰まりが発生した場合、残りの1台へ切り替えるための弁</p> <p style="text-align: right;">（2025年2月21日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2月21日に開口部のフランジを復旧し、午後4時30分に潤滑油の漏えいが止まったことを確認いたしました。</li> <li>今後、潤滑油が漏えいした原因調査を実施し、再発防止に努めてまいります。</li> </ul>			

# プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年2月28日		
号機	-	件名	海水モニタ、モニタリングポスト等の一時的な測定データ表示不良について（区分：Ⅲ）
<p>③ 【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年2月27日、午前6時00分頃、1号機の中央制御室に設置されている屋外放射線監視盤において、海水モニタ*1全7台および気象データが一時的に表示されないことを確認しました。</li> <li>また、午前7時10分頃に同監視盤において、モニタリングポスト全9台の指示値が一時的に表示されないことを確認しました。</li> <li>その後、当該海水モニタ、気象データおよびモニタリングポストの測定状況を確認したところ、表示されていない期間も含めて正常に測定ができていることを確認しました。</li> <li>なお、当該期間のプラントからの放射性液体廃棄物の放出はなく、排気筒モニタ*2を含めたすべてのプラントパラメータに異常がないことを確認しており、外部への放射能の影響はありません。</li> </ul> <p>*1：海水モニタ 放水口における海水中の放射線を測定する装置</p> <p>*2：排気筒モニタ 建屋内の空気を環境へ放出する際の放射線を測定する装置</p> <p style="text-align: right;">（2025年2月28日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調査の結果、屋外放射線監視盤のデータ受信装置*3に27秒の時刻ズレが発生していたことを確認しました。</li> <li>データ受信装置の仕様上、標準時間から25秒以上ズレが生じると、データ伝送が出来ないため、表示不良となったものです。</li> <li>時刻ズレが発生した原因については、メーカーを交えて確認中です。</li> </ul> <p>*3：データ受信装置 モニタリングポスト等から集約したデータを中央制御室などへ伝送する装置</p>			

# プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年3月7日		
号機	-	件名	大湊屋外エリアにおけるけが人の発生について（区分：Ⅲ）
<p>④</p> <p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2025年3月6日午前11時50分頃、大湊屋外エリアにおいて、鉄筋組立作業に従事していた協力企業作業員が、鉄筋の切断作業をするために結束線で固定している鉄筋を横方向にずらしたところ、結束線が切れ、下部鉄筋との間に左手薬指と中指を挟み負傷しました。</li><li>・そのため、業務車にて医療機関へ搬送しました。</li></ul> <p>【対応状況】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・病院で診察の結果、「左手環指打撲傷」「左手中指末節骨骨折」と診断されました。</li><li>・今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</li></ul> <p style="text-align: right;">(2025年3月7日にお知らせ済み)</p>			

# プレス公表（運転保守状況）

発生日	2025年3月10日		
号機	6	件名	6号機非常用ディーゼル発電機（C）制御盤室での発煙について（区分：Ⅲ）
<p>【事象の発生】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>2025年3月10日午前10時04分頃、6号機非常用ディーゼル発電機（C）の制御盤室にて発煙を確認し、初期消火により午前10時18分に発煙が止まったことを確認しました。</li> <li>その後、午前11時45分に公設消防による現場確認の結果、非火災と判断されました。また、発煙の発生した箇所は、制御盤内にある温度変換器につながる変圧器であったことを確認しました。</li> <li>なお、ディーゼル発電機制御盤は点検中であり、ディーゼル発電機は保安規定における要求台数を満足しており、原子炉安全上に影響はありません。</li> </ul> <p style="text-align: right;">（2025年3月10日にお知らせ済み）</p> <p>【対応状況】</p> <p>⑤ 現場調査の結果、変圧器につながる温度変換器を交換した際の、配線接続の誤りであることを確認しました。</p> <p>3台ある非常用ディーゼル発電機に関する温度変換器の交換作業を順次進めていましたが、新しい温度変換器は、変圧器からの接続端子位置が変更されていました。</p> <p>工事前に、当社、元請企業、施工会社にて、型式変更の留意点をまとめた上で当該工事を行っており、非常用ディーゼル発電機（A）（B）の制御盤では正しく作業が行われていたことを確認しています。</p> <p>一方で、今回の（C）の際に、作業を行っていた2名のうち1名が代わっていたこともあり、型式変更に伴う留意点などが十分に引き継ぎされていなかったため、接続誤りが起きたものと推定しています。引き続き原因調査を行い、対策を検討してまいります。</p>			

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

号機	7	件名	7号機設備故障に伴う衛星電話の一部使用不能による運転上の制限の逸脱について (区分：Ⅱ) 7号機設備故障に伴う衛星電話の一部使用不能による運転上の制限の逸脱からの復帰 について (区分：Ⅱ)	発生日	2024年11月21日 2025年1月14日 2025年1月27日 2025年1月31日
号機	-	件名	モニタリングポストの一時的な測定データ表示不良について (区分：Ⅲ)	発生日	2025年1月27日

# 柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(2025年3月)

2025年3月13日

## ① 発電所運転状況

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況												補足説明
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1号機 110万kW (1985.9.18運開)	停止中 第16回定期検査中 定検停止期間:2011.8.6~	第15回 2007.5.4~2010.8.4 停止期間 2007.5.4 ~ 2010.6.6 (1130日) (原子炉起動2010.5.31)	第16回定期検査による停止												<燃料の管理> ○ 燃料は、7号機のみ原子炉内に872体の燃料を装荷済み。その他の燃料については、各号機の使用済燃料プールで保管し、安定冷却を継続中。 ○ プール水温は、管理上の上限値(65℃)を超えないように管理しており、仮に冷却が停止したとしても、4日以上は管理上の上限値に達しないものと評価しています。
2号機 110万kW (1990.9.28運開)	停止中 第12回定期検査中 定検停止期間:2007.2.19~	第11回 2005.9.3~2006.5.9 停止期間 2005.9.3 ~ 2005.12.25 (114日) (原子炉起動2005.12.22)	第12回定期検査による停止												
3号機 110万kW (1993.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2007.9.19~	第9回 2006.5.12~2006.9.15 停止期間 2006.5.12 ~ 2006.7.27 (77日) (原子炉起動2006.7.24)	第10回定期検査による停止												
4号機 110万kW (1994.8.11運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2008.2.11~	第9回 2006.4.9~2007.1.11 停止期間 2006.4.9 ~ 2006.12.14 (250日) (原子炉起動2006.12.11)	第10回定期検査による停止												
5号機 110万kW (1990.4.10運開)	停止中 第13回定期検査中 定検停止期間:2012.1.25~	第12回 2006.11.24~2011.2.18 停止期間 2006.11.24 ~ 2010.11.25 (1463日) (原子炉起動2010.11.18)	第13回定期検査による停止												
6号機 135.6万kW (1996.11.7運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2012.3.26~	第9回 2010.10.31~2011.3.9 停止期間 2010.10.31 ~ 2011.1.26 (88日) (原子炉起動2011.1.23)	第10回定期検査による停止												
7号機 135.6万kW (1997.7.2運開)	停止中 第10回定期検査中 定検停止期間:2011.8.23~	第9回 2010.4.18~2010.7.23 停止期間 2010.4.18 ~ 2010.6.28 (72日) (原子炉起動2010.6.26)	第10回定期検査による停止												

※プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

## ② 発電所設備利用率(%) (2月末現在)

2月	0.0%
2024年度累計	0.0%
運転開始後累計	37.8%

## ③ 発電所発電電力量(万kWh) (2月末現在)

2月	0
2024年度累計	0
運転開始後累計	87,487,412

## ④ ドラム缶発生量(本) (2月末現在)

当月発生本数	227
貯蔵庫累積貯蔵本数	30,008
貯蔵庫保管容量	45,000

## ⑤ 使用済燃料貯蔵体数(体) (2024年度第3四半期)

使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	13,683
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

## ⑥ 従業員登録データ(人) (3月1日現在)

		東京電力	協力企業	比率※
県内	柏崎市	815	2,318	50%
	刈羽村	71	206	4%
	その他	162	1,111	20%
	小計	1,048	3,635	75%
県外		133	1,439	25%
合計		1,181	5,074	-
		6,255 ※2		100%
協力企業社数(社)		701		

※1 端数処理のため、割合の合計は100%にならない場合があります。  
 ※2 参考: 3月3日(月)の構内入構者数4,932人

## ⑦ 来客情報(人) (2月末現在)

	2月	年度累計
地元	679	12,965
県内	318	6,511
県外	202	7,141
国外	11	177
合計	1,210	26,794

## ⑧ 今後の主なスケジュール

予定日	内容
3月27日	定例所長会見(予定)
4月10日	定例記者説明会(予定)

インターネットホームページアドレス  
[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/kk-  
np/index-j.html](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/kk-<br/>np/index-j.html)

東京電力ホールディングス株式会社  
 柏崎刈羽原子力発電所  
 広報部  
 0257-45-3131(代)